

株式会社フィスコ2020年12月期 事業説明会資料

2021年3月30日



Copyright(c) 2012 by FISCO Ltd.

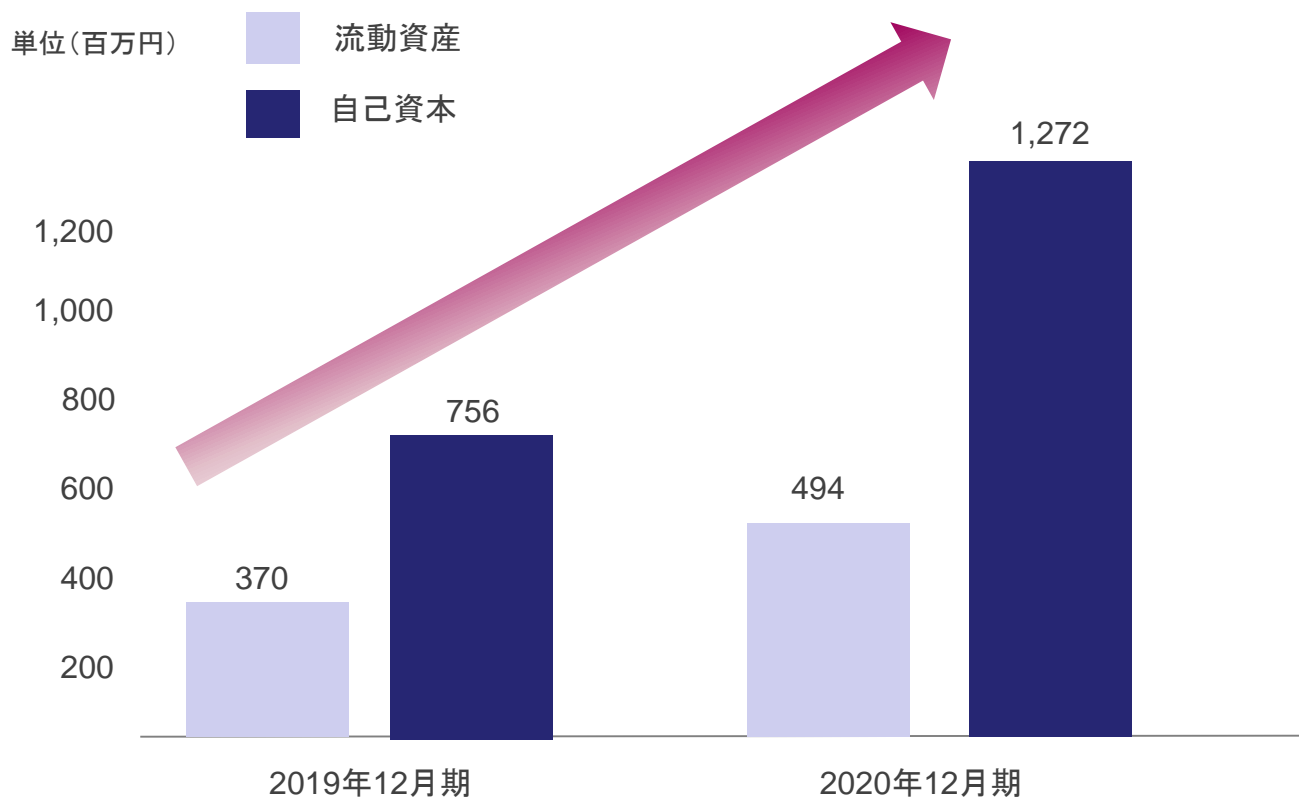
No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

I . 2020年12月期連結業績概要

II . 2021年12月期の取り組み

2020年12月期連結業績概要

流動比率および自己資本比率も順調に改善しており、安定的な財政状態を維持



流動比率
110%

232%

自己資本比率
36%

46%

営業利益の大幅な改善を実現し、当期純利益でも黒字を確保

単位:百万円

	2019年12月期	2020年12月期	対前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高※	5,789	1,119	▲4,670	▲81%
今期報告セグメント売上高	1,173	1,119	▲54	▲5%
営業利益	▲586	61	647	—
経常利益	▲984	▲127	1,111	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲666	66	732	—

※2019年12月期は、株式会社ネクスグループ連結数値を含む

安定的な収益および利益基盤を再構築

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各事業セグメントにおいて、前期比で売上減少したものの、営業利益は増益で推移

単位:百万円

	2019年12月期		2020年12月期		対前期差異	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
情報サービス事業	1,082	194	1,031	304	▲51	110
広告代理業	80	▲10	65	18	▲15	28
暗号資産・ブロックチェーン事業	10	▲1	22	20	12	21

2021年12月期連結業績見通し

新型コロナウイルスの影響によるクライアント企業の解約社数抑制と既存事業の安定化を図り、暗号資産関連事業の取り組みを通じて、企業価値の向上を目指す

1. 事業計画数値目標

単位:百万円

	2020年12月期 (実績)	2021年12月期 (業績予想)	増減
売上高	1,119	1,074	△45
販売費及び一般管理費	661	693	32
営業利益	61	76	15
営業外収益 ※	112	157	45
営業外費用	301	2	△299
経常利益	△127	231	358
親会社株主に帰属する当期純利益	66	226	160

※持分法適用関連会社の株式会社Zaif Holdingsの持分法による投資利益157百万円を含んでおり、当社の業績に大きく寄与することが見込まれます。

情報サービス事業

1. 個人投資家向けコンテンツ拡販の推進、投資教育・金融経済コンテンツサービス強化
 - 既存の事業分野に関しては安定的な成長を維持継続
2. 暗号資産の情報配信、日本国内および海外機関投資家向けコンテンツの拡大
 - デジタル通貨分野の市場拡大に伴う、投資家の情報取得ニーズを取り込み、いち早く発信



情報サービス事業

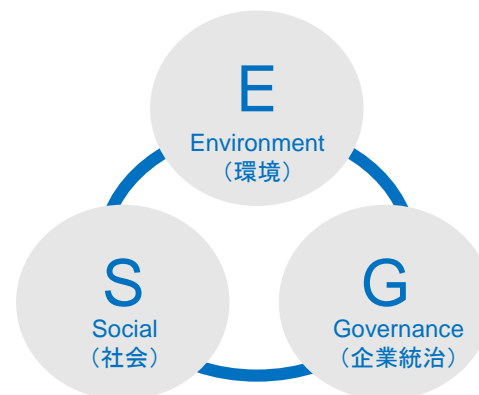
FISCOのサブディレクトリー上で運営される比較サイトの取り組みなど広告収入を図る



メディアサイト・コンテンツ制作
会社名 株式会社Media Beats
<https://mediabeats-group.com/>

企業 IR 支援サービス

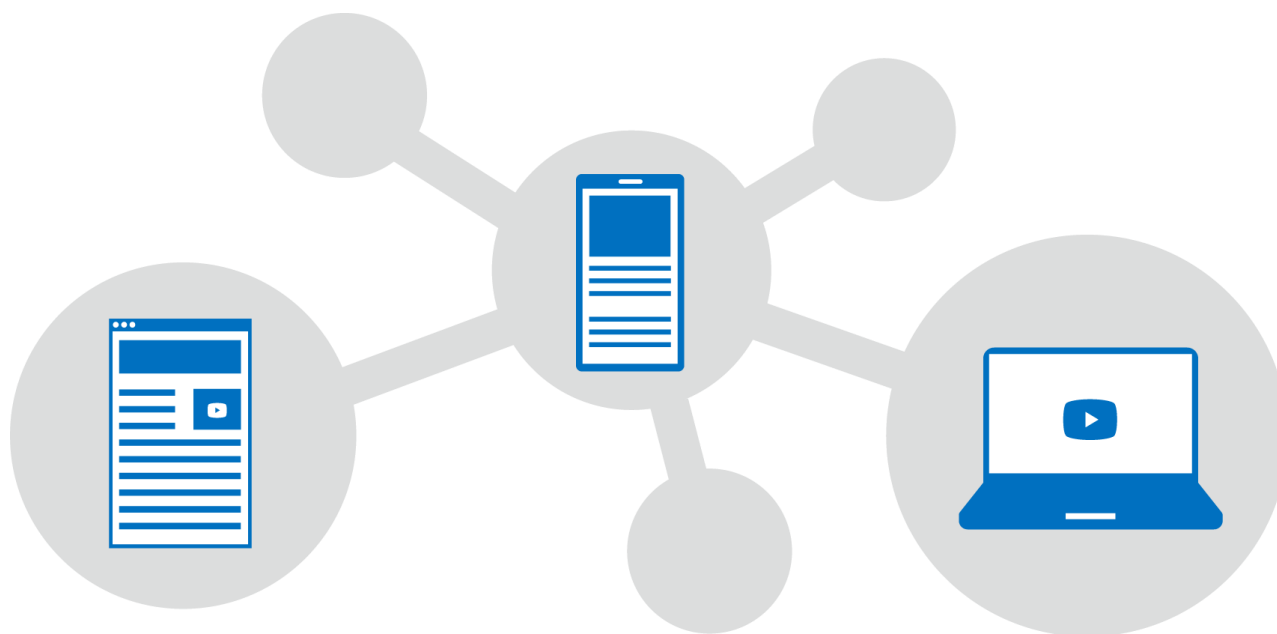
3. 継続契約社数の維持および新規契約の営業推進により、2021年12月期に500社、2023年12月期で契約社数1,000社を目標
4. 日本企業の海外機関投資家へIR支援業務および英文翻訳業務のニーズの掘り起こしによる収益化
 - 企業のESGのコンサルティング、その集大成としての統合レポートなどのニーズに応えたIR支援
 - バーチャル株主総会に伴う議決権行使サポートサービス、株主優待アプリケーションサービスの運用



広告代理業

5. 広告媒体提案力の強化や制作プロセス改善

- バナー広告、ネット動画制作等の広告におけるトレンドや媒体特性なども踏まえて、企業 IR や広告において、提案力の強化を



暗号資産・ブロックチェーン事業

Zaif HD の企業価値の最大化への協力体制の強化



- ・営業促進の連携
- ・新規製品の共同マーケティング
- ・ソフトウェア等の共同開発・共同研究
- ・人材の相互交流等
- ・暗号資産ビジネスの強化
- ・「FSCC」「NCXC」「CICC」の認知度の向上や利用範囲の拡大

2020年12月期に引き続き期末配当を予定

2021年12月期配当(予定)

1株当たり配当金 **3.0円**

FSCCの価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上を目指す

フィスココイン(FSCC)

インフラの充実

- ・FSCCのプロトコルを「ERC20」に変更
- ・スマートコントラクトを利用したバーチャル株主総会の議決権行使、株主優待アプリケーションの開発

流通の促進

- ・Zaif Exchangeにて、「主要通貨」にて取引
- ・海外投資家の認知度向上のため、海外交換所へ上場
 - Hotbit
 - FinexBox
 - ProBit

サービスの拡充

- ・「クラブフィスコ」およびクシム子会社のイーフロントィアが運営するイーフロントィアストアにて、FSCCを決済通貨に採用
- ・きちりホールディングスの飲食店舗による決済通貨に採用

ホルダーの参画

- ・株主優待としてFSCC付与
- ・Zaif Exchangeにおける企画プレゼントとしてFSCC採用

参考)フィスココイン価格推移

FSCCの価格が1年で14倍以上に
2020年1月に@7円 → 2021年1月には@95円に

Published on TradingView.com, February 12, 2021 10:21:59 JST
FSCC_JPY, 1W O:90.0500 H:95.0000 L:89.8000 C:94.9999



本資料の取り扱いについては、株式会社フィスコに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。

これらの記述は、当社が本資料の作成時点において入手した情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。

これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合レポート等をご参照ください。

本資料における将来に関する記述は、本資料の作成時点のものであり、本資料の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本資料で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。